

平成 27 年度 法人の執行状況

【事業について】

平成 27 年度は放課後等デイサービス事業をスタートし、児童発達支援事業、老人デイサービス事業を廃止としました。しかし、老人デイサービス事業については、引続き利用者を受入れ、社会福祉法の改正に伴う公益的な取組として、低額の料金で福祉サービスを提供したいと考えております。

また、今後に向けては収支バランスも考慮した組織作りが求められるため、ゆうかり学園では日中活動内容、各事業では事業内容の見直しの検討を進めています。

平成 29 年度開始を検討している地域生活支援拠点につきましては解体工事を終え、鹿児島市自立支援協議会内の検討部会で活発な議論を重ねています。

【新規グループホームについて】

昨年末より入札理事会など、必要な手順を踏まえて現在建設中であります。OM ソーラー補助金の申請、特殊浴場の設置など、生活環境に配慮することはもちろん、利用者・職員両方に優しいグループホームを目指しています。

それに伴い、入居利用者・職員配置・日課プログラム等についても将来構想検討委員を中心に定期的な話し合いを行っております。

【職員の資質向上について】

自己申告書・目標管理シート作成からフィードバックまでを、要領書作成と併せて実施しました。評価の見える化により、フィードバックによる一定の効果が見られたことから、来年度のバージョンアップに繋げていきたいと考えています。

また、平成 28 年度開催に向け、“強度行動障害支援者研修”のテキストを活用した法人内研修の準備を進めて参りました。研修の様子につきましては後日紹介させて頂きたいと思います。

上記、新規グループホーム・人事考課・法人内研修の推進においては、株式会社インサイトとコンサルティング契約を結び、将来構想計画支援として継続した支援を頂いています。

【職員待遇改善について】

平成 28 年度に向けて、法人内年間休日の統一化、正規・非正規職員の通勤手当の平等化、慶弔金申請方式導入による福利厚生の見直し、正規職員の基本給ベースアップを検討してきました。平成 29 年度に向けては、資格手当、非正規職員時給の見直しを課題としてあげています。

【開設 50 周年に向けて】

職員が個人の状況に応じて働き易く、更にスキルアップできる環境を整えることによって、結果的にそれが利用者の笑顔に結びつくことを念頭に置いて事業運営を行っています。ゆうかり学園開設 50 周年、サービスセンター『くればす』20 周年、ゆうかり保育園 10 周年を来年に控えて、基本理念に立ちかえりつつ新たな伝統を築き上げていきたいと考えています。

平成 27 年度 ゆうかり学園 事業報告

1. 事業内容

事業	利用者延べ数(名)	開所日数(日)	平均実利用者数(名)
施設入所支援	20,036	366	54.7
生活介護	16,903	245	68.9
就労移行支援	1,614	257	6.2
就労継続支援 A 型	1,348	259	5.2
就労継続支援 B 型	8,136	245	33.2

※平成 27 年度実績

2. 事業報告

1) 施設入所支援

期首 59 名でスタートしたが、4 月 14 日早朝に急病のため 1 名亡くなり、期末 58 名となった。高度アルツハイマー・徐脈・後縫靭帯の骨化(感覺障害・運動障害を伴う)を併発し、転倒により重度の脊髄損傷となる可能性を指摘されている方が 10 月 2 日に意識消失のため入院し、現在は意識が戻り落ちているものの退院の目処は立っていない。また、平成 28 年度 5 月 15 日早朝、最高齢 84 歳の利用者が亡くなり、現在 57 名となっている。今後は夜間支援体制の充実が急務である。

2) 生活介護

期首 77 名でスタートしたが、事業変更等で期末 79 名の 2 名増となった。支援の内容を見ると、昨年に引き続き認知症の進行や高齢化による介護や、他事業利用者も含めて通院・入院等が増え、静養時の支援等、業務内容が格段に増えつつある。職員が時間差で勤務するなど勤務体制も複雑になり、今後事業の在り方等も含めて検討を進めている

3) 自立訓練(生活訓練)

平成 27 年 3 月 31 日付で休止。

4) 就労移行支援

期首 9 名でスタートし、内 2 名は就職して定着するように支援を行っている。その他事業変更等で期末 6 名の 3 名減となった。しかし、今後も就労移行支援を継続するためには、新たな若年層の利用者の確保・職員の支援体制の見直しが必要となる。

5) 就労継続支援 A 型

期首 5 名でスタートしたが、1 名ぼおくしょっぷで雇用して期末 6 名となつた。

6) 就労継続支援 B 型

期首 39 名でスタートしたが、生活介護への事業変更等で期末 37 名となつた。今後も支援区分の見直しが必要と思われる利用者が複数名居て、おそらく今後は生活介護の利用増が想定される。

平成 27 年度期首から現在までに、入所利用者 2 名が亡くなられた。

3. 日中活動報告

1) 園芸（蔬菜）

安心安全をモットーに減農薬に努め誰でも口にできる野菜つくりを目指したが、天候に左右されることがあり思い通りに行かないこともあった。作付けは加工（ギョウザ）の材料（玉ねぎ 白ネギ キャベツ）を中心の生産体制を計画したが、ショップ、尾曲さん宅、学園職員の販売が好評だった為、更に耕作地の有効利用をするために作付けを計画して充実させた。

2) 園芸（花卉果樹）

園内花壇に花苗を植え付け利用者の情緒の安定を図り、施設外就労としてゴルフ場花壇、みなよし療護園花壇への花苗の植え付けを定期的に計画し、季節に合った花苗を育苗している。

果樹ではみかん、ブルーベリー作りに専念している。保育園のみかん狩り、ブルーベリー狩りも計画されて喜ばれている。

※ 園芸は天候に左右されることが多く更に日々の細かい管理が大切で、更に日中の活動が中心となる為に利用者の体調管理に気を配った。水分補給を小まめに行つた。

3) 畜産

純粹黒豚の一貫生産から加工まで日々の管理に取り組んでいる。喜ばれる肉作りを目指し、残渣、野菜くず、芋くずを利用して肥育を充実させた。しかし出産時の突然死が無いように職員の手厚い管理のおかげで肥育率が良くなり余剰豚を宮崎市都城畜産競市場（契約）に出荷して高値で取引され順調な滑り出しとなつた。

A型と連携を取つて途切れない黒豚生産に心がけたい。また黒牛の生産は順調で競値も右肩上がりとなり安定している。疫病対策にも力を入れ牛舎、豚舎の消毒も徹底してきた。

4) 工芸（木工）

年々材料の屋久杉が手に入りにくくなる中、工夫を凝らした製品つくりに取り組んだ。新しい製品（売れるもの作り）に取り組むと同時に、利用者の方が参加できる作業工程つくりに取り組んできたが、思うように提供できなかつた。

5) 工芸（竹工）

材料の確保が難しい時期があるが販売は順調にきている。製作に参加されている利用者の方が例年通りのために昨年と同様の製作本数であり販売額も一定している。しかし注文が集中する時期があるため年間を通して在庫確保が出来るように取り組んで行く。

6) 紙工

箱折りの定期的にあつたが盆、正月前の繁忙期は他班からの手伝いを貰い受注に間に合わせ順調に進んだ。農閑期には紙工室周囲の清掃、他班への手伝いに参加し交流を深める共に気分転換にもなつた。

7) そまさく

要支援、高齢の利用者の方が集中しているためにマンツーマン対応（認知、異食）、車椅子対応が多く勤務により他の班から日々手伝いを貰い、バイタル

チェック、検温等を朝夕に実施し健康管理に気を配った。リサイクル活動に取り組み、缶、ペットボトルの分別、圧縮を行なった。

8) ぼおくしょつぶ遊花里

黒豚ギョウザの販売が順調に伸びる中、一時期ギョウザ生産が追い付かなることもあったが、何とかクリアできている。繁忙期に向けてのギョウザ生産が課題となっている。

4. 実習

就労関係でニッセイ 保育園 久保水耕園 富士産業等に実習に参加し就職に繋げられる第一歩として取り組んでいる。27年度は、鹿児島急送へ小倉奨平さん、富士産業へ野田町子さんが就職へと繋がった。今後もフォローを忘れることなく支援して行きたい。次の方への就職を手助けしたい。

5. 今後

学園は高齢化が進んで行くなかで多種の支援が必要になってくるなかで、毎日2・3名が通院している状況であった。今後も増える傾向であり医療体制の充実も図らなければならない。

また活動に参加する職員が勤務等で少なくなり生産が落ちてきている。就労継続B型事業者に工賃支払いをするために一定の生産を上げる努力も必要であり、更に毎年の工賃向上の目標を考えていかなければならない。

平成 27 年度 グループホームゆうかり 事業報告

1. 事業内容

名称	定員(名)	現員数(名)	名称	定員(名)	現員数(名)
さくら荘	5	5	きんもくせい	6	6
わかたけ荘	4	4	すずらん荘	8	6
びおら	4	4	あじさい	5	5
第2わかたけ荘	6	6	コスモス	5	5
ひまわり	4	4	さざんか	6	5
わかば	4	4	あおい	5	4
まるおか	4	4			

※平成 28 年 4 月 1 日

2. 事業報告

1) (仮称)岡之原グループホーム新築工事

平成 28 年 1 月 20 日 : 入札理事会

平成 28 年 2 月 3 日 : OM ソーラー業者選定理事会

平成 28 年 4 月 9 日 : 上棟式

平成 28 年 6 月 末日 : 完成予定

2) 平成 28 年 3 月 24 日消防立入検査指摘 (さくら荘・あじさい)

① 火災予防上必要な図面等の報告……平成 28 年 4 月 24 日報告済

② 誘導灯の設置 ……平成 28 年 6 月末まで

③ 防炎カーテン・絨毯の設置 ……平成 28 年 6 月末まで

3) わかたけ荘

グループホーム内での人間関係のトラブルにより、一時的に学園で過ごしている利用者について、現在戻る見込みが立っていない。

4) びおら

昨年 3 月に入居した利用者の交友関係に関するトラブルが続いている。関係機関と情報共有しながら支援を検討している。また、ホーム内の物品の紛失など事実確認を行っている状況。

期首 3 名でスタートしたが、3 月より 1 名入居となり期末 4 名となった。

5) 第2わかたけ荘

期首 5 名でスタートしたが、5 月より 1 名入居となり期末 6 名となった。

6) ひまわり

期首 3 名でスタートしたが、11 月より 1 名入居となり期末 4 名となった。

7) きんもくせい

1 名は認知症の進行に加え、徐脈が併発したため学園で静養中。1 名は入退院を繰り返していたが、食事が摂れなくなったため現在入院中。2 人ともホームに戻れる目処は立っていない。

8) すずらん荘

期首 7 名でスタートしたが、1 名病気のため亡くなり期末 6 名となった。

9) さざんか

平成 28 年度 4 月に 1 名入居し、現在 6 名となっている。

平成 27 年度期首から現在までに、グループホーム利用者 1 名が亡くなられた。

グループホームゆうかり

平成27年度 サービスセンター・相談支援事業所『くればす』事業報告

作成者：塩満

1. 在宅支援サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援等）

担当職員：塩満、内、田中（友）、川畑、鳥丸、[吉永、蒲生原、田島]

鹿児島市在住の障害児（者）の在宅生活の支援を目的に居宅介護（身体介護・通院等介助）、重度訪問介護、行動援護、移動支援、同行援護を実施してきた。

平成27年度サービスセンター「くればす」活動実績

月	総件数	総利用時間	移動支援		行動援護		同行援護		身体介護		重度訪問介護 通院等介助		送迎	
			件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間
4	114	390:00	35	84:00	65	231:35	5	17:10	9	18:15	4	1:55	101	37:05
5	106	330:35	34	78:05	63	193:15	3	19:00	5	10:30	3	1:00	89	28:45
6	102	302:05	35	82:20	53	162:35	7	16:55	6	9:30	3	1:00	90	29:45
7	121	384:40	34	72:25	69	214:25	12	44:00	10	17:30	0	0:00	101	36:20
8	101	353:10	24	56:40	51	180:50	10	48:00	19	37:30	0	0:00	81	30:10
9	107	332:20	32	67:20	64	201:55	9	27:30	6	7:00	0	0:00	85	27:35
10	113	348:15	39	85:45	63	193:30	6	22:45	8	14:40	0	0:00	97	31:35
11	101	299:20	35	77:40	58	178:15	6	11:35	5	5:30	0	0:00	82	26:20
12	106	334:35	34	74:10	63	200:00	8	27:30	4	3:15	0	0:00	88	29:40
1	98	322:05	32	75:30	58	190:45	4	15:00	4	12:00	0	0:00	81	28:50
2	103	307:40	34	75:25	58	177:45	7	18:30	4	9:50	0	0:00	82	26:10
3	112	363:15	32	73:50	67	219:00	8	24:05	6	14:00	0	0:00	96	32:20
合計	1284	4068:00	400	903:10	732	2343:50	85	292:00	86	159:30	10	3:55	1073	364:35
平均	107	339:00	33.3	75:15	61.0	195:19	7.1	24:20	7.2	13:17	0.8	0:19	89.4	30:22

※ 利用件数の平均値は、少数点以下第2位を切り捨てしている。

【基本情報～サービスセンター『くればす』利用状況～】

居宅介護（身体介護）	3名（男性0名、女性1名、男児0名、女児2名）
重度訪問介護	1名（男性0名、女性1名、男児0名、女児0名）
行動援護	<u>8名</u> （男性2名、女性2名、男児3名、女児1名）
同行援護	2名（男性0名、女性1名、男児1名、女児0名）
移動支援	<u>9名</u> （男性3名、女性3名、男児1名、女児2名）
合計	23名（男性5名、女性7名、男児5名、女児5名）

【平成27年度 サービスセンター『くればす』の活動について～反省と課題～】

平成27年度の在宅支援サービス（居宅介護等）は、26年度と同様に相談支援関連事業等（満園の出向後の人員配置、相談支援との兼務等）により、サービス提供可能な時間が減少傾向にある中で、目標とした月平均380時間を下回る340時間弱程度の利用実績となった。26年度までヘルパーとしてサービス提供していた尾前が異動した影響もあり、年間のサービス件数・時間が26年度と比較すると、総件数では133件の減、総時間数では427時間25分の減となった。また、年末から2月にかけて感染症等や積雪等によるキャンセルが多かったことも影響している。

くればすスタッフの多くが、相談支援や学園業務等を兼務している状況があるため、業務を遂行する上で難しい面も多い。また26年度同様、学園からのサポートスタッフの確保が難しい状況は続いていたが、サービス提供に伴う大きな事故等なく実施できたことは良かった。今後も利用者の安全を第一にサービスの提供にあたりたい。

2. 指定一般・特定・児童相談支援事業

担当職員：塩満、田中（武）、鳥丸（その他、協力職員の皆様）

鹿児島市在住の障害児（者）および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行なってきた。計画作成が主で、電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施している。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

**指定特定相談支援・児童相談支援 実績集計
(平成27年4月～平成28年3月)**

		H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3	件数
全体	サ等計画	25	5	10	8	9	5	5	4	3	7	7	7	95
	サ計・モニ	18	17	37	14	19	19	15	15	27	12	15	20	228
	児支計画	7	3	4	1	2	2	1	6	5	3	2	5	41
	児計・モニ	6	5	4	1	6	2	2	5	3	4	4	3	45
														全総件数 409

法人 (入所 GH 通所・くれ スケッチ)	サ等計画	22	1	4	7	4	4	4	2	1	4	2	4	59
	サ計・モニ	12	12	30	6	16	13	8	8	26	6	14	18	169
	児支計画	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2	1	2	10
	児計・モニ	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	6
														総件数 244

法人 以外	サ等計画	3	4	6	1	5	1	1	2	2	3	5	3	36
	サ計・モニ	6	5	7	8	3	6	7	7	1	6	1	2	59
	児支計画	6	2	4	1	1	1	1	5	5	1	1	3	31
	児計・モニ	5	5	4	1	3	1	2	5	3	4	3	3	39
														総件数 165

(注)「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』 「モニ」…『モニタリング』
「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

2. 指定一般・特定・児童相談支援事業

担当職員：塩満、田中（武）、鳥丸（その他、協力職員の皆様）

鹿児島市在住の障害児（者）および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行なってきた。計画作成が主で、電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施している。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

**指定特定相談支援・児童相談支援 実績集計
(平成27年4月～平成28年3月)**

		H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3	件数
全体	サ等計画	25	5	10	8	9	5	5	4	3	7	7	7	95
	サ計・モニ	18	17	37	14	19	19	15	15	27	12	15	20	228
	児支計画	7	3	4	1	2	2	1	6	5	3	2	5	41
	児計・モニ	6	5	4	1	6	2	2	5	3	4	4	3	45
														全総件数 409

法人 (入所 GH 通所・くれ スケッチ)	サ等計画	22	1	4	7	4	4	4	2	1	4	2	4	59
	サ計・モニ	12	12	30	6	16	13	8	8	26	6	14	18	169
	児支計画	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2	1	2	10
	児計・モニ	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	6
														総件数 244

法人 以外	サ等計画	3	4	6	1	5	1	1	2	2	3	5	3	36
	サ計・モニ	6	5	7	8	3	6	7	7	1	6	1	2	59
	児支計画	6	2	4	1	1	1	1	5	5	1	1	3	31
	児計・モニ	5	5	4	1	3	1	2	5	3	4	3	3	39
														総件数 165

（注）「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』 「モニ」…『モニタリング』
「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

平成 27 年度 ゆうかり保育園 事業経過報告

【全体所感】

昨年度より取り組んでいる英語(外部講師)は子どもたちも楽しんで参加しており、英語の時間以外でも簡単な単語が飛び交うようになった。外国語を体感して、さらに身近に感じられるようになったようなので、次年度も楽しく取り組めるよう講師と連携を取り進めていきたい。

3回目のバザーは学園職員の多くのフォローもあり、成功に終わった。日曜日開催で多くの集客を見込んだが、校区の行事と重なっており、地域の方々にゆうかり学園・保育園を知っていたいただくことを目的としていたため、日程調整が次年度への課題となった。

お泊り保育は定着してきており、年長組が一晩家族と離れて過ごし、朝帰っていく姿はとてもたくましく、目を見張るものがあった。家庭でも思い出話をする姿が多くあつたとのこと。今後も年長組の恒例行事として、子どもの心に残るものになるよう工夫していきたい。

平成 27 年度はインフルエンザ A・B とも感染があったが、インフルエンザを上回る勢いでロタウィルスが流行した。嘔吐下痢等、ウィルス系の感染症が本園だけでなく世間でも大流行したので、集団生活の場所として、出来る限りの予防、対策、対応をとつていく必要を改めて感じ、看護師による内部研修を行い、全職員での感染対応についての統一化を図った。

喀痰吸引の必要な子どもの受け入れを行い、看護師を配置、保育士が吸引の資格をとり、対応した。吸引が必要ということで入園を断られていた本児にとっては他児との関わりが良い刺激になり、表情もさらに豊かになったように感じる。次年度は年長組となり、卒園にむけての 1 年となるため、他児同様、より良い環境の中で大いに集団生活での思い出を増やしていきたい。

【特色ある取り組み】

*スポーツ教室 月 1 回 レノヴァ鹿児島 小久保選手による指導 3 歳以上児

*食育 月 1 回 クッキング・食育 3 歳以上児

*環境 キャンドル作製・野菜栽培など

*読み聞かせ 外部講師を招いての読み聞かせ

子どもたちは回を重ねる毎に集中力がついてきている。

*卒園児交流事業 夏休みに卒園した 1 年生を招いて旧担任と園外活動を行う

*高齢者デイとの関わり

誕生会・給食・おはら祭など行事から日常までと一緒に過ごし、関わりを多く持つことで、互いの存在を感じあい、いい表情がたくさん見られている。

*ゆうかり学園利用者さんとの関わり

ゆうかり学園利用者さんに保育園にきていただき、保育補助をすることで園児や職員との交流を図る。また、保育園児と保護者が学園へ行く機会をつくり、学園との交流を行う。

学園ならではの、夏祭り参加、敬老会参加、ブルーベリー狩り、みかん狩り、芋の苗植

え、芋掘り、豚舎の見学を体験し、利用者さんの助けを借りながら、大人も子どもも自然と触れ合う機会を多く作れる。

【監査指摘事項】

7月13日 実施 文書指摘 2件 口頭指摘 4件

園児の状況（平成27年3月31日現在）✿

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	0	7	9	3	5	8	14	6	8	10	8	38	44

園児の状況（平成28年5月1日現在）✿

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	2	6	5	9	10	3	7	13	9	6	7	41	40

行事の実施状況

月	日	行事内容	備考
4	1	入園式	新入園児及び保護者
4	29	ふれあい春祭り	さくら組
5	13	内科検診	全園児
5	23	清掃活動	保護者(父)
6	3	芋の苗植え	さくら組
6	17	みつろう作り	3歳以上児 夏至の話
6	20	田植え	さくら組園児及び保護者
7	19	ブルーベリー摘み	もも組
7	16.17	ふれあいスポーツランド プール	もも組・さくら組
7	18	お泊り保育	さくら組
8	6	そうめん流し	上村管理者による協力
8	8	ゆうかり学園 夏祭り	さくら組及び保護者
8	28	卒園児同窓会プログラム	新1年生
9	18	ゆうかり学園 敬老会	さくら組
9	26	親子レクレーション(ふれسب)	全園児及び保護者
10	11	ゆうかり保育園バザー	全園児・地域の方 等
10	16	秋の遠足	3歳以上児考 古歴史館
10	17	稲刈り	さくら組園児及び保護者
10	29	収穫祭	3歳以上児

10	29	内科検診	全園児
11	3	おはら祭り	さくら組園児・保護者・希望者及び職員
11	10	親子ふれあい子育て事業(文化ホール)	3歳以上児
11	14	芋ほり・みかん狩り	さくら組園児・保護者
11	22	歯科検診	みちよデンタルクリニック
11	21	みかん狩り	うめ組及び保護者
11	28	みかん狩り	もも組及び保護者
12	13	発表会	全園児及び保護者 国際大学
1	7	もちつき	上村管理者による協力
3	4	お別れ遠足	水族館 3歳以上児 ふれスポーツ 1・2歳児
3	12	卒園式	卒園児及び保護者 3歳以上児

※毎月 誕生会、スポーツ教室(外部講師)、読み聞かせ(外部講師)、英語(外部講師)、避難訓練、身体測定、食育・クッキング、鹿児島市立図書館の移動図書館(年間20回)、保護者茶話会(年間3回)保護者・職員

職員の研修状況

期日	研修会	会場	講師	担当
5月23日	全体研修会	自治会館	普光院亜紀	右田・黒葛
6月6日	保護者支援研修会	サンロイヤルホテル	安梅	窪田
6月23日	南ブロック研修	国際大学	佐藤直明	木佐貫
6月10日～11日	健康と安全研修会	奄美の里	河野嘉文	森本
7月23日～24日	エピソード記述研修会	鹿児島市民ホール	鯨岡峻	末廣
8月22日	南ブロック研修	国際大学	森下拓海	岡田
8月28日	保育の質を高める研修会Ⅰ	鹿児島市民文化ホール	高山静子	神之
9月9日	相談援助研修会	自治会館	大竹直子	宮原
9月28日	保育の質を高める研修会Ⅱ	アーバンポートホテル	北野幸子	松田
10月1日	保育の質を高める研修会Ⅲ	奄美の里	井桁容子	岡田
10月17日～18日	日本保育保健学会	鹿児島市民文化ホール		鳩宿・宮原・福島
11月4日～6日	保育実践セミナー	沼津リバーサイドホテル	埋橋玲子	末廣
11月17日	園長・主任保育士研修会	城山観光ホテル	猪熊弘子	右田・鳩宿
11月28日	南ブロック研修	谷山市民会館		油田
1月23日	全体研修会	鹿児島市民文化ホール	中川ひろたか	右田・黒葛

2月 22日	保育施設研修会	市民福祉プラザ		油田
2月 25日	保育の質を高める研修会Ⅳ	鹿児島市民文化ホール	野井真吾 石坂	
2月 27日	南ブロック研修	谷山市民会館		油田

実習生受入状況

期間	学生氏名	所属
5月 11日～22日	橋口 麻里菜	神村学園高等部保育科
8月 17日～29日	紙屋 麻衣	鹿児島純心女子短期大学
8月 17日～29日	肝付 玲愛	鹿児島純心女子短期大学
8月 31日～9月 12日	新留 爽生	鹿児島女子短期大学
8月 31日～9月 12日	平松 里菜	鹿児島女子短期大学
7月 21日～24日	新屋 茜	鹿児島看護専門学校
7月 21日～24日	杉本 梨沙	鹿児島看護専門学校
7月 21日～24日	山田 晴久	鹿児島看護専門学校
9月 14日～30日	日高 あい	鹿児島キャリアデザイン専門学校
2月 3日～17日	北園 弓佳	鹿児島純心女子短期大学
2月 3日～17日	丹羽 葉月	鹿児島純心女子短期大学
2月 15日～26日	新村 祥子	鹿児島女子短期大学

その他

- ・国際大学事前実習生…2月 24日(19名)、2月 25日(26名)
- ・サマーボランティア(小・中・高校生 短大・専門学生)…7月 22日～8月 24日
延べ40名 (1日当たり2名、1人につき1日まで) 登録人数44名
- ・職場体験…11月 4日～6日鹿児島県立盲学校高等部学生(1名)
1月 19日～21日鹿児島市立谷山中学校2年生(4名)
2月 18日～19日鹿児島県立武岡台養護学校高等部1年生(1名)

平成 27 年度 そだち支援センター スケッチ 事業報告

作成者：尾前

1. 利用状況 (h 27. 10. 1~)

開所日数	94 日
延べ利用者数	59 名

2. 利用者の状況

登録児童数 3 名

3. 活動内容

週ごとに内容を検討した。初年度で、活動の流れやかかる時間など未知な部分も多かったが、利用者が少ない分スタッフが一緒に工作やゲームに取り組み、説明の不十分な部分やエネルギーの消耗量などを把握することができた。

10月	たてもんたんけん！ おばけやしきづくり	スケッチの案内 ハロウイーン
11月	どんぐりこうさく ひろいプレイルームであそぼう！ スケッチカフェ	秋にちなんだ工作 大小のボールを使って遊ぶ いつものおやつをカフェ風に
12月	クリスマスせいさく・かざりつけ クリスマス会 大そうじ	自分で作った飾りを、一緒に飾りつけ 生クリームでデコレーション 床や窓をきれいに
1月	おしようがつあそび ピンポンカップインゲーム いとでんわであそぼう！	凧揚げや福笑いに挑戦 点数を計算 音が伝わるゲーム
2月	豆まきでおにたいじ キラキラ☆こうさく	節分の鬼のお面作り ビーズで小物作り
3月	めかくしゲーム こむぎこねんど スノードームづくり おたのしみ会	触って当てるゲーム 好きなようにこねて色を混ぜる 手作りスノードーム お団子パーティ

* 「たてもんたんけん！」は毎月行い、新規利用者に事業所内の部屋や過ごし

方の注意、隣接する保育園、保育士と顔を合わすことでお互いに知ってもらうことも狙いにした。

スケッチでの約束を、言葉のみで伝えずに、階段を下りる時や 2 階の窓からの落下への注意もこの機会にしっかりと伝えることを目的にした。

4. 研修状況

月	外部・内部	内容
5	法人内部	視覚障害者同行援護サービスの同行研修（サービスセンターくればす）
	外部	滋賀県 社会福祉法人グローにて実習
6	外部	鹿児島県理学療法士会 音楽療法講座（やまびこ医療福祉センター）
7	外部	鹿児島県自閉症協会 「発達障害がわかる！学習会」
8	外部	鹿児島市自立支援協議会 「発達障害を正しく理解するための研修会」
	外部	南九州病院 公開講座「知的・発達障害者の家族支援とライフパターンで考える障害者支援」
10	外部	ジョブコーチセミナー 「発達障害のある方の就労支援」
11	外部	スクールクラスター事業「社会参加への発達障害者支援」
	内部	「社会参加への発達障害者支援」の伝達研修
12	外部	日本発達障害ネットワークセミナー 「学童期の発達障害児を支える」
	内部	「学童期の発達障害児を支える」の伝達研修
1	内部	個別支援会議
2	外部	県手をつなぐ育成会 「大人の発達障害の理解と支援」
	内部	「大人の発達障害の理解と支援」の伝達研修
3	内部	来年度のスケッチの事業計画など

・一昨年度、前事業の廃止とともに他の療育機関に移行した利用者が、放課後等デイサービスとなった当事業所を再度利用して下さっていることにとても感謝している。

保護者からも学校行事やその他の情報を教えて頂いて、一緒にスケッチを作りあげている。

平成27年度 事業実績報告

デイサービスセンター ゆうかり

作成者：福崎

1、 平成27年度事業内容

通所介護事業については、平成26年度事業報告（27年4月現在）以降、施設入所1名、永眠者1名があり、8月以降は男性利用者1名利用中。男性利用者も7月11日まで約40日間の入院をされており、通所される利用者の減少に伴い、通所事業所での勤務日数の減少からスタッフ3名の退職希望があり7月末日をもって退職。8月からは通所介護事業の職員配置基準を満たさない為、8月の理事・評議委員会の採決により廃止となった。

また男性利用者に関しては、ご本人とご家族からの通所を希望されている事や、子ども達との良好な関係が築けている事から、法人の自主事業の契約に変更し（介護保険自己負担相当額に準ずる）、通所利用中となっている。その際、福崎+他事業所（保育園事務職員、スケッチ職員）から応援を貰い受け入れている。

2、 レクリエーション活動

レクリエーションでは、利用者の状況、状態に応じ、希望を伺いながら実施した（外出、制作、園芸、子ども達とのふれ合い）。外出レクリエーションは、季節に応じて花見や買い物、屋外への散歩等を多く取り入れ、また、保育園行事の遠足にも参加が出来た。外出をすることで季節を感じて頂き、気分転換や社会参加、機能訓練にも繋がった。

3、 保育園との関わり

普段の生活の中において、子ども達とデイサービス棟や希望があれば保育園で過ごしてふれ合う等、お互いに日常的に関わりが持てている。また、園児の中には、利用者の膝上に座るなど、とても穏やかな雰囲気の中で過ごす場面も見受けられた。

また利用者の誕生会や敬老の日などは子ども達と一緒にデイサービス棟でお祝いをする事でとても喜ばれていた。

その他、6月頃からは進級をして環境に馴染んできた年長児が、高齢者デイサービスで昼食を共にするようになっている。そのことでより親しみが増し、ふれ合う様子が見られている。（園児2～3名で来所）

4、 研修等

外部研修は、近隣施設の連絡協議会や各種研修への参加でしたが、更に専門性が必要なものがあると考えている（疾患等への理解）。また、保育園児についても喀痰吸引の必要とする園児がおり、研修で得た知識を周知して介護技術を向上し、サービスへの反映を目指す。また、レクリエーションの充実に向けた研修等も取り入れていきたい。

・利用状況

平成 27 年度の利用状況

(介護保険法下における通所介護事業 4月～7月) (自主事業 8月～)

開所日数	80日	80日
延べ利用回数	46回	80回
1日平均人数	1.7人	1人

・利用者状況

	登録人数	利用回数	備考
4月	3名	22回	
5月	3名	14回	折田様 5月30日 入院・田栗様 施設入所
6月	2名	3回	鈴木様 6月20日 永眠。
7月	1名	7回	折田様 7月11日 退院
8月	1名	11回	折田様 法人自主事業受け入れ開始
9月	1名	10回	
10月	1名	12回	
11月	1名	11回	
12月	1名	10回	
1月	1名	7回	
2月	1名	10回	
3月	1名	9回	

・前年度比 (介護保険法下における通所介護事業)

	平成 26 年度	平成 27 年度 (4月～7月)	自主事業利用 (8月～)
開所日数	180日	39日	80日
延べ利用回数	366回	46回	80回